速報版
北國新聞
2014年（平成26年）
8月27日（水）

3月14日開業

北陸新幹線

東京―金沢2時間28分

「かがやき」10往復

金沢―福井に特急新設

ＪＲ東日本、西日本は27日、北陸新幹線長野―金沢の開業日を来年3月14日とすることで合意したと発表した。最速列車の「かがやき」は1日に10往復運転し、東京―金沢を最短2時間28分で結ぶ。東京―富山は最短2時間8分となる。開業に合わせ、金沢―福井に特急列車を1日3往復新設するなど、新幹線と在来線の接続向上を図る。

開業日は、ＪＲ各社の春のダイヤ改正日に合わせて決めた。「かがやき」は速達性を重視し、長野駅以西は、富山駅と金沢駅にのみ停車させる。東京―金沢では、東京、大宮、長野、富山、金沢に停車し、一部は上野駅にも止める。

「かがやき」より停車駅が多い「はくたか」は1日15往復で、うち1往復を長野―金沢とする。飯山駅は一部通過するが、上越妙高―金沢は全駅に停車する。

北陸新幹線の新型車両「E7系」「W7系」は、12両編成で全934席あり、東京―金沢の直通列車は「かがやき」と「はくたか」の合計で24往復、年間約1700万席が設定されることになった。

金沢―富山を往復するシャトル便「つるぎ」は1時間に1本、1日18往復運転する。東京―長野は「あさま」を1日16往復走らせ、一部は8両編成の「E2系」で運用する。

北陸新幹線の開業に伴い、特急「サンダーバード」と特急「しらさぎ」は、金沢から富山方面への乗り入れをやめる。金沢―和倉温泉は、特急列車を5往復運転する。

新潟方面へは上越妙高―新潟に新特急「しらゆき」を5往復させて代替する。

来年3月14日に延伸開業する北陸新幹線のルート